

評価結果一覧表

事業名称	評価結果	評価結果に至る具体的な意見・提案の例
ふれあいセンター管理経費	更なる取り組みが必要 (経営資源(人・物・財源・情報)の更なる投入)	<ul style="list-style-type: none"> ・知名度や利用者数を増やすための更なる工夫と努力が必要である。 ・年代別に高齢者向け、若い人向けなど広報の仕方を工夫してはどうか。
市営賃貸工場アパート管理事業費	縮小の方向へ (規模縮小(将来の廃止も含む))	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の誘致企業についてその将来性を見極めるのは、行政が行うには難しい点もあり、将来的には廃止の方向だと思う。 ・目的が曖昧で効果が期待できない。思い切って別の零細企業育成支援策に転化していくほうが良い。
社会福祉協議会運営助成事業費	こうすればよい (経費節減につながる改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が良い意味で関与し、社協の経営をより明確にすべき。人件費も含めて、経営効率が上がるように関わっていただきたい。 ・市と社協の基本的な業務分担の協議はもつとなされるべきである。
東村山市シルバー人材センター運営事業費	更なる取り組みが必要 (経営資源(人・物・財源・情報)の更なる投入)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報については、センターを広く知らせる段階ではなく、実際に仕事を依頼してみようというところまで行動させるものでなければならない。 ・センターには、自ら需要を拡大していく、待ちの姿勢ではなくこちらから仕事を求めていく姿勢が必要である。
憩の家運営事業費	縮小の方向へ (規模縮小(将来の廃止も含む))	<ul style="list-style-type: none"> ・既に40年の歴史があり、この間社会環境等状況の変化が著しい。憩いの家の役割は果たされたとみるべき。目的を達成するためであれば、建物はどこでも、スペースはどこでもよい。 ・場所や付帯設備を提供することよりも、高齢者が主体的に動けるような事業こそが必要である。
老人クラブ助成事業費	こうすればよい (経費節減につながる改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのための活動だけでなく、地域貢献をしているクラブを評価して、厚めに助成をしていただきたい。 ・会員数によって助成額が変わることなら、本人確認、意思確認は必要である。
体育施設維持管理経費 (久米川庭球場用地借地料)	縮小の方向へ (規模縮小(将来の廃止も含む))	<ul style="list-style-type: none"> ・借地してまで確保するのは、市の財政状況が好転するまでは我慢すべき。 ・従来充てていた予算をゼロにするという発想ではなく、運動公園等の代替地を検討しそちらに予算を回していただきたい。